

令和5年4月吉日

各 位

鹿児島大学国際島嶼教育研究センター  
交流企画部会長 柿沼太郎

### 国際島嶼教育研究センター特別研究会のご案内

国際島嶼教育研究センター特別研究会を下記のとおり開催いたします。皆様方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

#### 記

日 時：令和5年4月19日（水）16時30分～18時  
会 場：総合教育研究棟5階 国際島嶼教育研究センター会議室  
（〒890-8580 鹿児島市郡元1丁目21-24）  
中 継：鹿児島大学国際島嶼教育研究センター奄美分室  
（〒894-0026 鹿児島県奄美市名瀬港町15-1 奄美群島大島紬会館6階）  
WEB：Zoom  
参加費：無料（通信費は参加者負担）

\*講演は英語で行われます。

スポットライトの下で：世界の中心にある島々

ゴドフリー・バルダッキーノ（マルタ大学）

#### 【要旨】

学問分野には、独自の雑誌、ハンドブック、協会、会議、学位プログラム、推薦図書が必要である。「島嶼学」は、現在、これらすべてを備えている。島嶼学には独自の「研究方法の入門書」も用意されている。それには（特に小さな）島や島民について、島民のために、島民とともに研究を行う際の特別な課題を説明している。この入門書は島の条件である「島性」に注目している。これは、それ自体では何も引き起こさないが、行動やシステムを特定の方法と方向に誘導することができる。したがって、小さな島のシステムでは、経済的独占、社会的親密さ、政治的全体性といった性質が、より大きな本土では通常見られない、独特の「小ささの生態系」を構築している。

本発表では、人類学者マーガレット・ミードの先駆的な著書『サモアの思春期』（1928年）からまもなく100年を迎えるにあたり、「島嶼学」の進化の一端を紹介する。特に、島が、退屈で忘れられた周辺地域でありエキゾチックな研究対象から、人新世の中心かつ象徴的な存在に、そして1945年以降の国際世界秩序の国際関係における主体へと変化していく過程をたどっていく。

## Under the Spot Light: Islands at the Centres of Our World

Godfrey Baldacchino (The University of Malta)

A discipline requires deserves its own journals, its own handbooks, its own associations, its own conferences, its own degree programmes, and its own collection of recommended readings. 'Island Studies' now has all of these. It now also has its own 'how to' research methods primer, which describes the particular challenges of doing research on (especially small) islands and on/about/for/by/with islanders. One that takes the 'island as focus' by the horns and locks in onto 'the island condition': islandness. This is an intervening variable which, in and of itself, does not cause anything; but can however contour and nudge behaviours and systems in particular ways and directions. Hence, the dispositions toward economic monopoly, societal intimacy and political totality in small island systems build a distinct "ecology of smallness" which is not typically found in larger, mainland communities.

This presentation offers a snapshot of the evolution of 'island studies', soon celebrating the 100th anniversary of anthropologist Margaret Mead's pathbreaking book *Coming of Age in Samoa* (1928). It particularly traces the movement of islands from dull, mendicant and forgotten peripheries and exotic research objects to central and symbolic players in the Anthropocene and subjects in the international relations of the post-1945 International World Order.

The presentation will be followed by a 'question an answer' session.

**Keywords:** Anthropocene, AOSIS, international organisations, island studies, research methods, epistemology, islandness, research ethics.

Godfrey Baldacchino

Professor of Sociology, University of Malta, Malta  
Malta Ambassador-at-Large for Islands and Small States  
Founding Editor, *Island Studies Journal*  
Former President, International Small Islands Studies Association  
Former Canada Research Chair and former UNESCO co-Chair, Island Studies, University of Prince Edward Island, Canada (2003-2013; 2016-2020).

### 【対面式でのご参加（要登録）】

新型コロナウイルス感染症の予防の観点から、ご自身の体調を十分お考えのうえ、ご参加ください。対面式でのご参加をご希望の場合は、下記の情報をメールまたは電話にて4月17日（月）までにお知らせください。

お名前（必須）：  
お電話番号（必須）：  
ご所属先：  
ご住所：  
メールアドレス：  
メーリングリストへの登録の希望の有無：

初めてご参加いただく方で、今後、当センターの研究会やシンポジウム等の案内をご希望の方は「希望する」とお書きのうえ、メールアドレスも必ず記入してください。

### 【オンライン（Zoom）でのご参加（要登録）】

インターネット環境とパソコン、スマートフォン、タブレット等があれば、ご自宅やオフィスからご気軽にご視聴いただけます。通信費は参加者負担となります。

オンラインでのご参加をご希望の場合は、下記の情報をメールにて4月17日（月）までにご連絡ください。Zoomの視聴方法については、参加登録後に届く、登録確認メールをご覧ください。

お名前（必須）：  
メールアドレス（必須）：  
ご所属先：  
ご住所：  
メーリングリストへの登録の希望の有無：

初めてご参加いただく方で、今後、当センターの研究会やシンポジウム等の案内をご希望の方は「希望する」とお書きください。

---

### 【ご連絡先】

対面式（申込期限：4月17日（月））

センター会議室：shimaken@cpi.kagoshima-u.ac.jp または 099-285-7394（担当：大塚）  
奄美分室：amamist@cpi.kagoshima-u.ac.jp または 0997-69-4852（担当：財部）

オンライン（Zoom）（申込期限：4月17日（月））

yotsuka@cpi.kagoshima-u.ac.jp（担当：大塚）